

平成30年度決算が、去る6月14日の令和1年度 第1回組合会において可決承認され、監督官庁への届出が済みましたので、その概要をお知らせします。

全国の健保組合の財政状況は、昨年9月に健保連が公表した集計数値によると、保険料率の引き上げにより保険料収入は増加したものの、高齢者医療拠出金の大幅な増により、黒字額が前年度比43.4%減と大幅に落ち込みました。その結果、赤字組合は580組合に達し、全体の41.6%を占め、さらに前年度比10組合増の314組合が協会けんぽの100%を超えている非常に厳しい状況が依然として続いています。

そのような中、当健康保険組組合は、保険料率を79%に据え置き、約379百万円の経常赤字予算で健保運営をしてきましたが、標準報酬増により保険料収入が約2.6億円増となったこと、支出では、前期高齢者支援金が加入事業所脱退による過年度精算の大幅な戻りによって、実質保険料率は74.85%、約2.8億円の経常黒字で終わることができました。保健事業では、データヘルス計画として、メタボ予備群のメタボ流入抑制や非メタボの重症化予防に焦点を

当て、健診結果数値の悪い方を対象に健診結果とそれに対する専門職によるアドバイスを記載したアドバイスシートを送ることで健康に対する気づきを促すと共に相談窓口を設置し、生活習慣を見直す支援をするという取り組みを事業主と協働で実施してきました。疾病予防事業では、特定健診・特定保健指導の受診率・実施率の向上に向けた取り組みや人間ドック、主婦健診やがん検診も継続して実施してきました。また、専門職による訪問健康相談では、健康管理や生活習慣、適正な医療機関のかかり方まで広範囲なアドバイスをしてきました。さらに「セルフメディケーション」の考えに基づく家庭用常備薬の補助斡旋や健康管理WEBサイト「KENPOS」を利用したチャレンジウォーキング、スポーツクラブ利用補助等にも力を入れ、加入者の皆さまの健康を守ることに留意してまいりました。一方、業務の効率化による事務所費の削減にも積極的に取り組み、収支の改善にも努めてきました。

1.健康保険(一般勘定)

一般勘定の決算状況は以下のとおりです。

(単位:千円)

総収入	8,062,210	経常収入	7,781,044
総支出	7,629,320	経常支出	7,498,859
決算残金	432,890	経常収支	282,185

収入

収入総額は、80億6,221万円で、うち、保険料収入が77億4,299万円、GEヘルスケア・ジャパン(株)が脱退したことにより、前年度比10億8,347万円の減少となりました。

支出

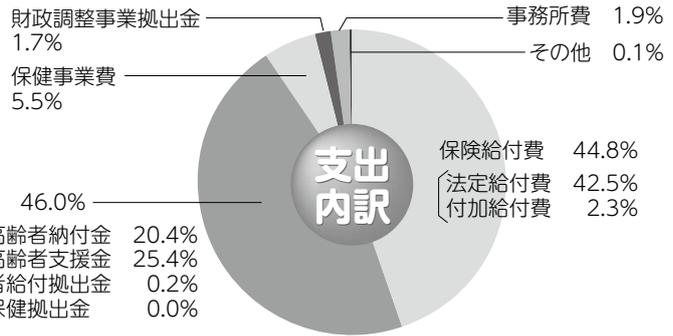
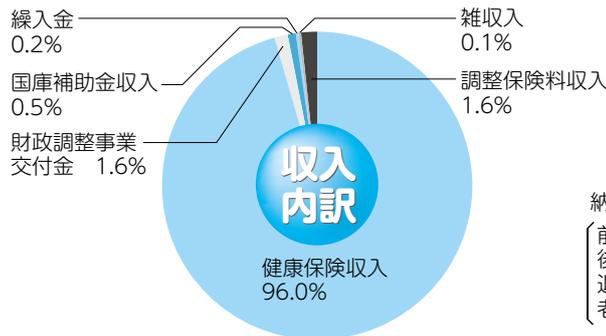
支出総額は、76億2,932万円で、保険給付費と納付金(69億2,344万円)で90.7%を占め、対保険料収入比でも89.4%となり、加入者の健康を守るための保健事業を圧迫しています。

決算残金処分

決算残金の4億3,289万円の処分は以下のようにすることとなりました。

- 準備金への積立……………0円
- 別途積立金への積立……………4億3,287万円
- 財政調整事業繰越金……………2万円
- 準備金：健康保険法施行令で定められた基準まで毎年度積立てる法定準備金。保険給付費や拠出金の支払いに不測を生じた際に使用します。
- 財政調整事業繰越金：決算年度に収納した調整保険料で、翌年度に支払いが生じる金額を繰り越す為の処置。

収入支出決算の割合をグラフで見ると…



横河電機健康保険組合 組合会新議員のご紹介

(任期:令和1年7月1日~令和4年6月30日)

役職名	氏名	事業所
理事長	松井 幹雄	横河電機株式会社
常務理事	鈴木 隆男	横河電機健康保険組合
選定理事	坂和 伸岳	横河ソリューションサービス株式会社
//	安田 真	横河電子機器株式会社
//	前島 伸幸	横河電機健康保険組合
選定議員	山口 幸作	横河マニュファクチャリング株式会社
//	鳥羽 聰公	横河電機株式会社
//	松田 明良	横河医療ソリューションズ株式会社
//	東山 香苗	ジョンソンコントロールズ株式会社
//	野口 陽子	アジレントテクノロジー株式会社
監事	本橋 征宏	株式会社ワイ・ディ・シー

役職名	氏名	事業所
互選理事	荒川 祐行	キーサイトテクノロジー株式会社
//	新宅 隆弘	横河電機株式会社
//	西塚 裕行	横河電機株式会社
//	斉藤 猛	横河ソリューションサービス株式会社
//	比佐 文俊	横河マニュファクチャリング株式会社
互選議員	田中 由美	横河ソリューションサービス株式会社
//	山内 明伸	横河電機株式会社
//	久保 裕資	横河電機株式会社
//	雨宮 俊秀	横河マニュファクチャリング株式会社
//	石井 慈典	横河レンタ・リース株式会社
監事	郡家 賢治	横河電機株式会社

平成30年度 収入支出決算

収入

(単位:千円)

科 目	29年度決算額	30年度決算額
健康保険料収入	8,826,458	7,742,985
調整保険料収入	147,663	130,478
繰 入 金	0	18,148
国庫補助金収入	78,989	43,984
財政調整事業交付金	118,254	112,122
雑 収 入	20,157	14,493
収 入 合 計	9,191,521	8,062,210

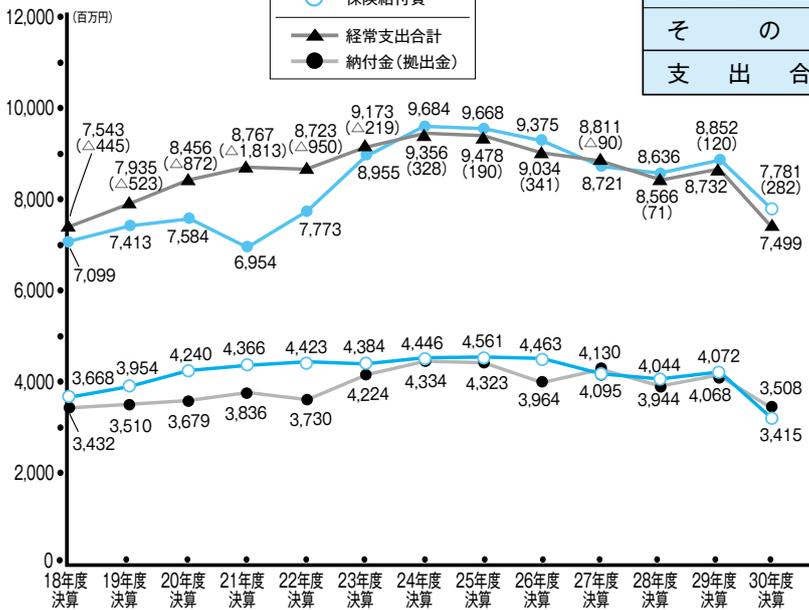
支出

(単位:千円)

科 目	29年度決算額	30年度決算額	
事 務 費	137,943	146,911	
保険給付費	法定給付費	3,870,144	3,242,398
	付加給付費	201,954	172,481
納付金	前期高齢者納付金	1,876,016	1,554,756
	後期高齢者支援金	2,072,833	1,936,109
	病床転換支援金	10	8
	老人保健拠出金	26	0
	退職者給付拠出金	119,021	17,687
保健事業費	449,050	417,079	
財政調整事業拠出金	147,648	130,458	
そ の 他	5,497	11,433	
支 出 合 計	8,880,142	7,629,320	

決算残金
4億3,289万円

収支決算の推移



健康保険料率負担割合

事業主	被保険者	合計
47.5	31.5	79.0
1000	1000	1000

被保険者数と標準報酬月額

		平成29年度	平成30年度
被保険者数(人)	男	11,597	10,203
	女	2,566	2,265
	計	14,163	12,468
平均標準報酬月額(円)	男	520,764	508,751
	女	374,791	360,881
	計	494,945	482,446

2.介護保険(介護勘定)

介護勘定の決算状況は以下のとおりです。

(単位:千円)

総収入	1,007,572
総支出	994,598
決算残金	12,974

収入

収入は、事業主および介護保険第2号被保険者と特定被保険者のみなさんから介護保険料です。

支出

国からの介護納付金通知額は9億9,457万円で、支出に占める割合はほぼ100%でした。

介護勘定では、事業主および介護保険の被保険者のみなさんから介護保険料を徴収し、介護納付金として社会保険診療報酬支払基金に納付します。

支払基金に集まった納付金は、介護保険の保険者である各市町村に介護交付金として交付されます。

決算残金処分

今年度の決算残金の1,297万円全額を準備金に繰入れます。

収入

科 目	決算額(千円)	内訳(%)
介護保険収入	938,544	100.0%
繰越金	0	0.0%
繰入金	60,000	0.0%
国庫補助金受入	9,024	0.0%
雑収入	4	0.0%
計	1,007,572	100.0%

支出

科 目	決算額(千円)	内訳(%)
介護納付金	994,574	100.0%
還付金	24	0.0%
計	994,598	100.0%

介護保険料率負担割合

事業主	被保険者	合計
6.0	6.0	12.0
1000	1000	1000